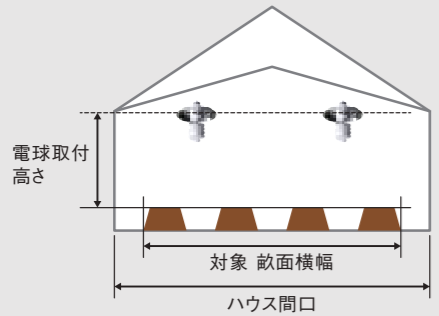


設置プラン作成については、下記項目に必要事項をご記入いただき
フリーダイヤルまでお問い合わせください。

対象ハウス **本圃** **苗場** | イチゴ品種 **紅ほっぺ** **その他**

タイプ **土耕** **高設** | ハウス棟数 **棟**

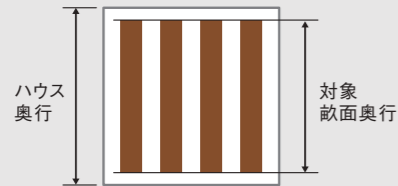
1 間口の確認



ハウス寸法	間口	m
ハウス寸法	畝面横幅	m
畝列数		列
電球取付高さ		m

※ソケットの下面から畝までの距離

2 奥行きの確認



ハウス寸法	奥行	m
ハウス寸法	畝面奥行	m

UV-B電球形蛍光灯 商品ラインナップ

タイプ	外観	品番	POS	価格	ランプ寸法 (mm)	質量 (g)	口金	周波数 (Hz)	定格電圧 (V)	定格電流 (A)	定格消費電力 (W)	紫外線強度維持率 (%)	寿命 (h) (平均値※)
A タイプ	土耕栽培に	SPWFD24UB2PA	4549980225325	オープン価格	Φ60.5×162	187	E26	50/60 共用	100	0.37	24	60以上	4500
B タイプ	高設栽培に	SPWFD24UB2PB	4549980225323	オープン価格	Φ60.5×162	147	E26	50/60 共用	100	0.37	24	60以上	4500
C タイプ	低消費電力	SPWFD19UB3PC	4549980536193	オープン価格	Φ71.0×178	272	E26	50/60 共用	100	0.31	19	60以上	4500

※寿命(平均値)は紫外線量に基づき設定しており、保証値ではありません。

お問い合わせはこちら

パナソニック ライティングデバイス(株) お客様相談センター



0120-878-213

※携帯電話・PHSからご利用になれます
受付時間 9:00~17:00(平日)



ホームページはこちら <https://panasonic.co.jp/ls/pldv/f-products/UV-B/>

ストロベリーを、 ストロングベリーに。

イチゴの免疫機能を葉への紫外線照射で活性化。
うどんこ病等の対策をサポートします。



ムムムキは
イメージだよ!

パナソニックの UV-B電球形蛍光灯



SPWFD24UB2PA



SPWFD24UB2PB



SPWFD19UB3PC

紫外線(UV-B)を照射し、 植物病害を防除。 農薬の散布回数を削減。



UV-B電球形蛍光灯の特長

植物病害を抑制する
紫外線(UV-B)を照射。



葉への適度なUV-B照射により、イチゴの免疫機能を活性化させ、うどんこ病の発生を抑えます。

農薬散布回数を削減し、
安心・安全な農作物づくりをサポート。



UV-B照射により農薬使用量を削減。散布回数削減や人体への影響を抑えた作物を生産できます。

コンパクトで取付け簡単。
しかも長寿命。*1



電球形蛍光灯と同形状で、E26ソケットに取り付け可能。UV-B照射効果は約4500時間と長寿命*1です。

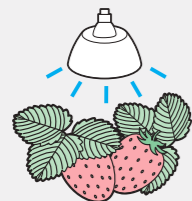
*エビデンス情報: 福島県農業総合センター様の圃場(4m)にてイチゴうどんこ病を抑制することを検証。*この商品は病害の被害を軽減することはできませんが、病害をゼロにできるものではありません。
*1当社実験結果であり、品質保証期間ではありません。夜間3時間で年間8ヵ月点灯の場合、約6年間に相当します。

うどんこ病抑制(免疫力を高める)

苗場、本圃に使用し、病害発生が周年低減しました。

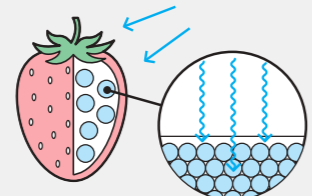
*イラストはイメージです。実際は葉に照射することで効果が得られます。
*病害の被害を軽減することはできませんが、病害をゼロにできるものではありません。

1 紫外線(UV-B)の光を葉に照射



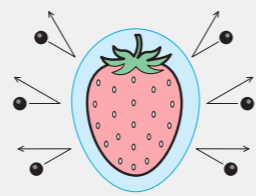
0時~3時までの夜間1日3時間照射

2 適度な刺激により免疫機能が活性化



遺伝子を活性化

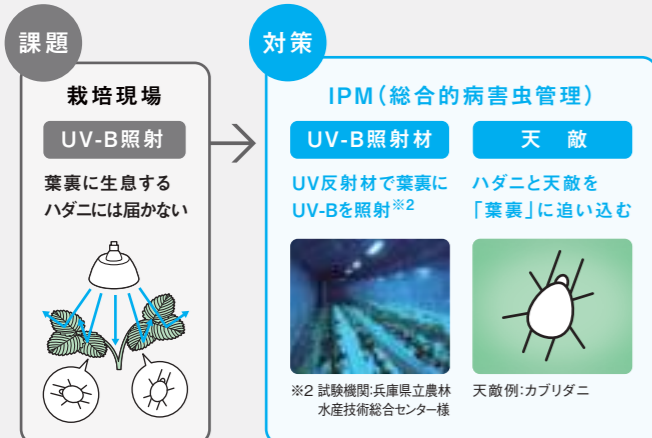
3 植物病害(うどんこ病)の発生を抑制



イチゴ自身の免疫機能を高める

ハダニの増殖を抑制

UV-Bがハダニ卵の孵化、発育、産卵の抑制効果があります。反射シートとの組み合わせで、より効果的な撃退が可能です。

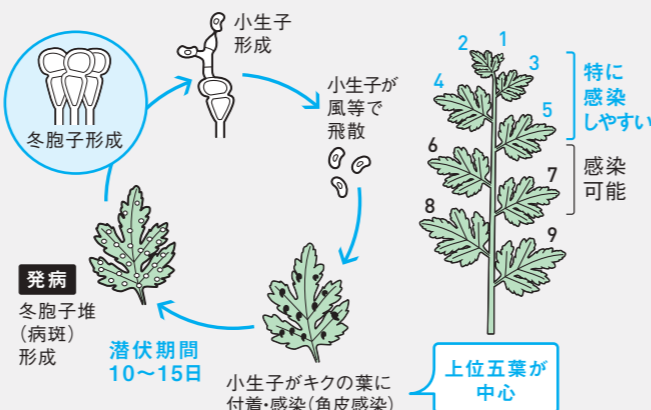


*SPWFD19UB3PCについては今後効果検証予定

白さび病抑制

*現在、電球形での実証試験を実施中

母株・育苗圃場、低UV-B強度で長時間(朝6時終了とし、4~6時間)使用し、小生子の葉への付着・感染時の菌糸伸長を抑制(特に上位五葉で)しました。
*タフナレイ(生産終了)による実証結果

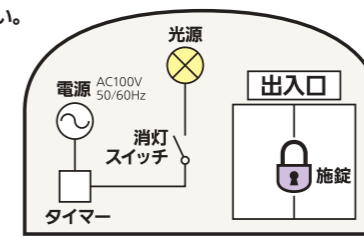


設営の目安

UV-B電球形蛍光灯セットの運用方法と設置方法

必須の運用条件

- 交流100V、周波数50/60Hzの電源をご使用ください。推奨電圧範囲：AC95~107V
- 夜間0時~3時までの3時間のみ点灯してください。
- タイマーを設置し、点灯時間を管理してください。
- 施設等により施設を管理してください。
- 出入口のそばに消灯スイッチを設置し、ハウスに入る時は消灯してから入ってください。
- 本製品は、点灯4,500時間で交換してください。

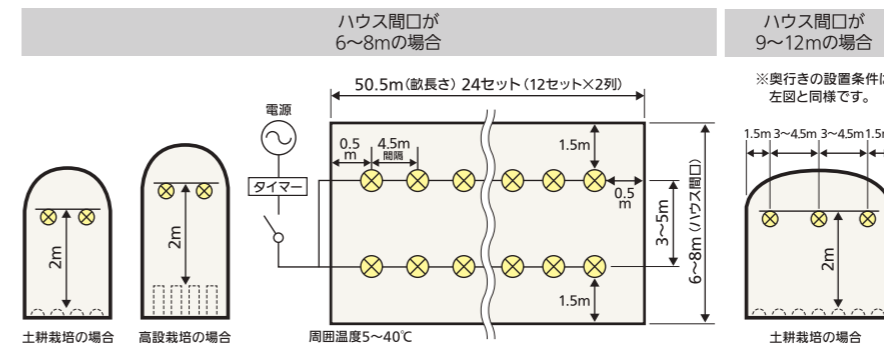


設置例

[SPWFD24UB2PAの場合]

本ほでの運用方法と設置方法 (イチゴの例)

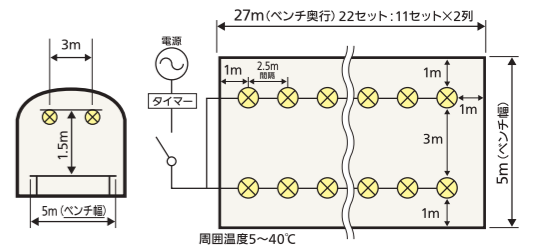
10月~5月の8ヶ月点灯させます。



ハウス壁からは1.5mまでの位置に設置してください。☒: UV-B電球形蛍光灯+反射傘 ☒: 消灯スイッチ(出入口の外側)
適切な効果が得られない場合があります。

苗場での運用と設置方法 (イチゴの例)

育苗期となる6月中旬~9月中旬の3ヶ月点灯させます。

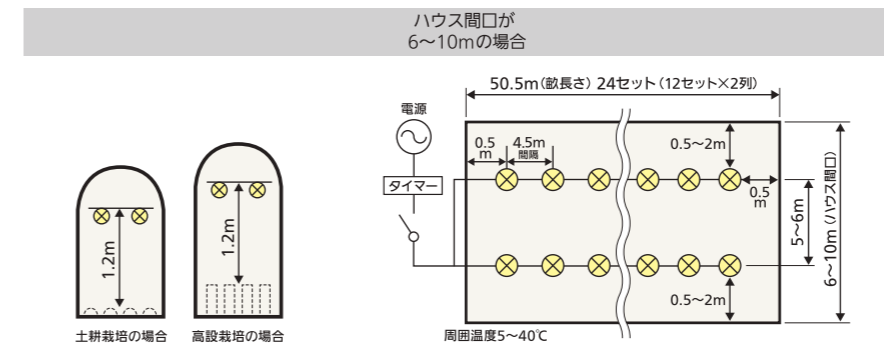


ベンチの端から、1mまでの位置に設置してください。適切な効果が得られない場合があります。

[SPWFD24UB2PBの場合]

本ほでの運用方法と設置方法 (イチゴの例)

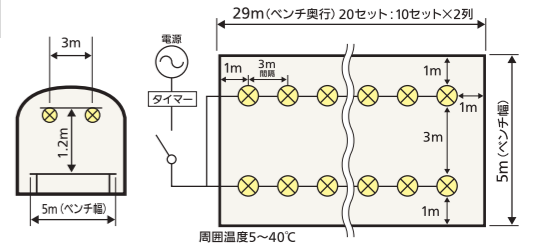
10月~5月の8ヶ月点灯させます。



ハウス壁からは0.5~2mまでの位置に設置してください。☒: UV-B電球形蛍光灯+反射傘 ☒: 消灯スイッチ(出入口の外側)
適切な効果が得られない場合があります。

苗場での運用と設置方法 (イチゴの例)

育苗期となる6月中旬~9月中旬の3ヶ月点灯させます。

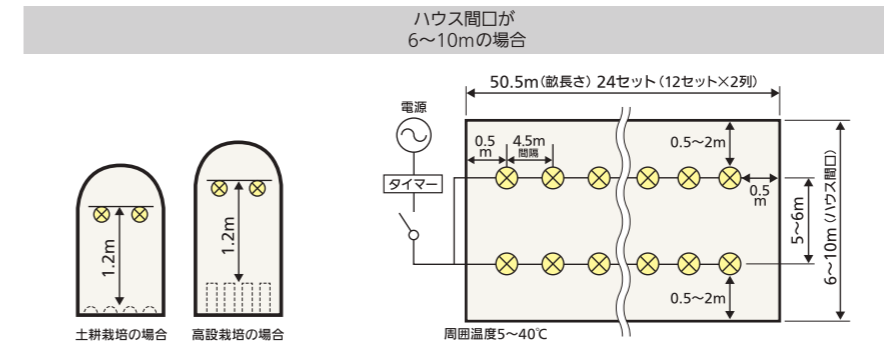


ベンチの端から、1mまでの位置に設置してください。適切な効果が得られない場合があります。

[SPWFD19UB3PCの場合]

本ほでの運用方法と設置方法 (イチゴの例)

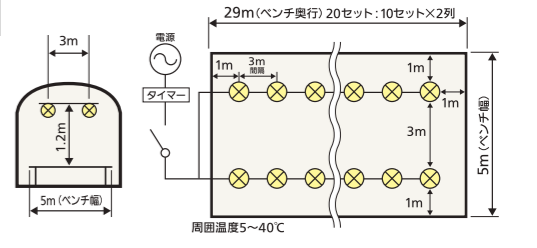
10月~5月の8ヶ月点灯させます。



ハウス壁からは0.5~2mまでの位置に設置してください。☒: UV-B電球形蛍光灯+反射傘 ☒: 消灯スイッチ(出入口の外側)
適切な効果が得られない場合があります。

苗場での運用と設置方法 (イチゴの例)

育苗期となる6月中旬~9月中旬の3ヶ月点灯させます。



ベンチの端から、1mまでの位置に設置してください。適切な効果が得られない場合があります。